

## クロス集計

### 縦軸（行）と横軸（列）で集計する

#### ◇機能

《クロス集計》は、縦軸と横軸からなる表（テーブル）を作成する機能です。各軸に指定したフィールドの値を元にデータをグループ化し、グループごとに、指定した数値フィールドの値を合計します。

（例）取引日別・営業担当者別の金額合計を確認したい。

取引日	営業担当者	種別	金額
2023/01/20	101	A	400
2023/01/20	102	A	600
2023/01/20	102	B	700
2023/01/21	101	A	500
2023/01/21	103	A	900
2023/01/21	102	A	800
2023/01/21	101	B	100

取引日	101	102	103
2023/01/20	400	1300	0
2023/01/21	600	800	900

取引日2023/01/21の  
営業担当者101の金額合計が確認できる

#### 《クロス集計》の縦軸と横軸

縦軸：「取引日」フィールド

取引日	101	102	103
2023/01/20	400	1300	0
2023/01/21	600	800	900

横軸：「営業担当者」フィールド

小計：「金額」フィールド

#### ◇メニュー

《分析》-《クロス集計》

## ◇ 設定内容

クロス集計

テーブル名: A00000\_005\_発注

縦軸フィールド

フィールド名	データ型	書式設定
ソースファイル名	C	
シート名	C	
見積番号	C	
明細行番号	C	
商品コード	C	
数量	N	True
単価	C	
金額	N	True
備考	C	
割引率	F	True
割引金額	N	True
税率	F	True
割引後金額	N	True

フィールド選択

横軸フィールド

ソースファイル名: C

クロス集計方法:  小計  文字列の書き出し

小計フィールド

フィールド名	データ型	書式設定
数量	N	True
金額	N	True
割引率	F	True
税率	F	True
割引後金額	N	True

フィールド選択

出力先:  画面  テーブル  カウントを含める

IF条件

保存先

キャンセル 実行

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
2. 縦軸フィールド (必須)
  - : フィールドの一覧で、縦軸とするフィールドをクリックして選択します。
    - すべてのデータ型のフィールドおよび追加フィールドが選択できます。
    - フィールドは、複数選択できます。選択した順に番号が表示され、番号順にグループ化の優先度が決まります (1が優先度高)。
3. フィールドの全選択/全解除
  - : チェックボックスのオン/オフで、すべてのフィールドの選択/解除が行えます。
4. 《フィールド選択》ボタン
  - : 「フィールドの選択」画面を開き、フィールドの選択・並び順の変更を行うことができます。
5. 横軸フィールド (必須)
  - : フィールドのリストを展開し、横軸とするフィールドをクリックして選択します。
    - すべてのデータ型のフィールドおよび追加フィールドが選択できます。
    - 選択できるフィールドは、1つのみです。
    - 横軸フィールドの値は、実行結果の表 (テーブル) の列見出し (フィールド名) に使用されます。フィールド名は、「小計フィールド名\_横軸フィールドの値」となります。
      - ・ 横軸フィールドがテキスト型で、値が空白のレコードが存在する場合は、空白のレコード同士を集計します。列見出し (フィールド名) は「小計フィールド名\_blank」となります。
      - ・ 横軸フィールドが数値型で、小数点やマイナスの値がある場合は、列見出し (フィールド名) では小数点およびマイナスは半角のアンダースコア「\_」に変換されます。

- 6.クロス集計方法 : クロス集計の方法を選択します。
- 小計：数値型フィールドを小計します。
  - 文字列の書き出し：対応する文字列を書き出します。

7. 小計フィールド（任意）

- : フィールドの一覧で、集計する数値フィールドをクリックして選択します。
- 小計フィールドは、選択したクロス集計方法により表示されるフィールドが異なります。
    - 小計：数値型のフィールドのみが表示されます。
    - 文字列の書き出し：文字型型のフィールドのみが表示されます。
  - フィールドは、複数選択できます。選択した順に番号が表示され、集計結果として表示する列の順番が決まります。
  - 小計フィールド名は、実行結果の表（テーブル）の列見出し（フィールド名）に使用されます。フィールド名は、「小計フィールド名\_横軸フィールドの値」となります。
  - 小計フィールドを選択しない場合、実行結果の表（テーブル）には、集計されたレコードの件数が表示されます。フィールド名は、「横軸フィールド名\_横軸フィールドの値」となります。

8.出力するレコード（クロス集計方法が「文字列の書き出し」の場合必須）

- 最初の1件目：クロス集計されるレコードの1レコード目の組み合わせが表示されます。

見積番号	商品番号	課税区分
00001	商品A	非課税
00002	商品A	課税
00003	商品A	非課税
00004	商品A	課税

←商品番号“商品A”、課税区分“非課税”の1レコード目  
 ←商品番号“商品A”、課税区分“課税”の1レコード目  
 ←商品番号“商品A”、課税区分“非課税”の2レコード目  
 ←商品番号“商品A”、課税区分“課税”の2レコード目



- ・縦軸フィールド：商品コード
- ・横軸フィールド：課税区分
- ・クロス集計方法：文字列の書き出し
- ・小計フィールド：見積番号
- ・出力するレコード：最初の1件目

商品番号	見積番号	非課税	見積番号	課税
商品A		00001		00002

←各組み合わせの1レコード目の組み合わせ  
 (2レコード目以降の値は反映されません)

- すべてのレコード：クロス集計されるレコードのすべての組み合わせの値が表示されます。

見積番号	商品番号	課税区分	
00001	商品A	非課税	←商品番号“商品A”、課税区分“非課税”の1レコード目
00002	商品A	課税	←商品番号“商品A”、課税区分“課税”の1レコード目
00003	商品A	非課税	←商品番号“商品A”、課税区分“非課税”の2レコード目
00004	商品A	課税	←商品番号“商品A”、課税区分“課税”の2レコード目



- ・縦軸フィールド：商品コード
- ・横軸フィールド：課税区分
- ・クロス集計方法：文字列の書き出し
- ・小計フィールド：見積番号
- ・出力するレコード：すべてのレコード

商品番号	見積番号	非課税	見積番号	課税	
商品A		00001		00002	←全ての組み合わせが出力されます。
商品A		00003		00002	
商品A		00001		00004	
商品A		00003		00004	

9. IF条件（任意）：抽出条件を設定する場合は、「IF条件」に条件式を入力します。
10. 《式ビルダー》アイコン：「IF条件」の条件式を入力するために、式ビルダーを開いて使用できます。
11. 出力先（必須）：実行結果の出力先を選択します。デフォルトは、「画面」が選択されています。
- 画面：実行結果を画面に表示します。
  - テーブル：実行結果を新規テーブルに出力します。
12. 「カウントを含める」（任意）
- ：集計されたレコード件数を表示したい場合は、チェックを付けます。
- 「カウントを含める」を選択すると、実行結果の表（テーブル）にカウントの列（フィールド）が作成されます。フィールド名は、「count\_小計フィールド名\_横軸フィールドの値」となります。
13. 保存先（出力先が「テーブル」の場合は必須）
- ：実行結果の出力先となる新規テーブル名を入力します。
- テーブル名の長さは、64文字までです。
  - 「出力先」で「画面」を選択した場合は、入力できません。
  - ファイルの保存先は、プロジェクトが保存されているフォルダの「04\_table」フォルダです。
  - 《保存先》ボタンで、保存するフォルダを変更できます。ただし、使用可能なフォルダは、プロジェクトが保存されているフォルダの「04\_table」フォルダおよびそのサブフォルダのみです。
14. 《実行》ボタン：実行します。
15. 《キャンセル》ボタン：実行せず画面を閉じます。

◇ 実行結果の表示

● 画面出力の場合

日時: 2023/02/22 13:42:38  
 テーブル: 取引データ  
 コマンド: CROSTAB ON [取引日] COLUMNS [営業担当者] SUBTOTAL [金額] TO SCREEN OPEN  
 出力件数: 2件

	取引日	金額_101	金額_102	金額_103
1	2023/01/20	400	1,300	0
2	2023/01/21	600	800	900
	合計	1,000	2,100	900

クロス集計の結果  
 横軸フィールドの値ごとの合計値が表示されます。

<「カウントを含める」を選択した場合の表>

	取引日	金額_営業担当者_101	count_金額_101	金額_営業担当者_102	count_金額_102	金額_営業担当者_103	count_金額_103
1	2023/01/20	400	1	1,300	2	0	0
2	2023/01/21	600	2	800	1	900	1
	合計	1,000	3	2,100	3	900	1

カウントの列 (レコード件数)

● テーブル出力の場合

縦軸フィールド: 取引日

	取引日	金額_101	金額_102	金額_103
1	2023/01/20	400	1,300	0
2	2023/01/21	600	800	900

「小計フィールド名\_横軸フィールドの値」がフィールド名となります。  
 テーブル出力では、横軸フィールドの値ごとの合計の行は生成されません。

<「カウントを含める」を選択した場合のテーブル>

	取引日	金額_営業担当者_101	count_金額_101	金額_営業担当者_102	count_金額_102	金額_営業担当者_103	count_金額_103
1	2023/01/20	400	1	1,300	2	0	0
2	2023/01/21	600	2	800	1	900	1

## ◇操作ログ

**CROSTAB ON** [縦軸フィールド1] [縦軸フィールド2] …または**ALLFIELDS COLUMNS** [横軸フィールド]  
**SUBTOTAL** [小計フィールド1] [小計フィールド2] …または**ALLFIELDS** (OUTPUT ALLRECORDS) IF 条件式 **TO** 出力先 **COUNT OPEN**

※出力するレコードで「すべてのレコード」を選択した場合は、OUTPUT ALLRECORDSが記述されます。

※「IF条件」を設定した場合は、IF条件式が記述されます。

※出力先は、「出力先」の選択により、記述が変わります。

出力先	ログ
「画面」を選択した場合	SCREEN
「テーブル」を選択した場合	"サブフォルダ名¥新規テーブル名"

※「カウントを含める」を選択した場合は、COUNTが記述されます。